

〇リスク・レジリエンス工学学位プログラム(博士後期課程)昼夜開講プログラム

専門科目(昼夜開講プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
0BD5005	知能情報システム	1	1.0	1 - 3	秋B	土5,6	倉橋 節也	複雑な社会や経営の問題を扱うためには、知能情報システムのモデル化が必要となる。本講義では、人工知能をベースとしたマルチエージェント技術に基づくシミュレーション&ゲーミング手法を紹介する。これはボトムアップ型のアプローチであり、ソフトウェアエージェントと人間を含むそれぞれの主体が、シンプルなゲーミング環境の下で、自律的・適応的な意思決定を通して、複雑なシステムを実験的に再現することができる。本講義ではゲーム設計を含め、グループワークを通して自律的に参加することで、知能情報システムのモデル化について理解する。	西暦偶数年度開講。02CF206, 02FA247と同一。 対面
0BDM220	共分散構造分析特論	1	1.0	1 - 3				本講義では、社会科学研究で頻りに使われる共分散構造分析について、1理論面の理解を深める、2共分散構造分析が使われている応用論文を批判的に精読し、共分散構造分析の理解を深める、3共分散構造分析について実際のデータ解析経験を積む、のいずれかを学生の興味にあわせて選択し、これを目的として授業を行う。1に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。2に関しては学生各自の専門分野における論文を選ぶ、3に関しては、共分散構造分析の使い方に関する良書を使い、地に足の着いた理解を目指す。	西暦奇数年度開講。02FA273と同一。 2026年度開講せず。 対面
0BDM221	調査データ解析特論	1	1.0	1 - 3	秋C	木7,8	尾碕 幸謙	本講義では、マルチレベルモデル、欠測データ解析について、1理論面の理解を深める、2各手法が使われている応用論文を批判的に精読し、各手法の理解を深める、3各手法について実際のデータ解析経験を積む、のいずれかを学生の興味にあわせて選択し、これを目的として授業を行う。1に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。2に関しては学生各自の専門分野における論文を選ぶ、3に関しては、各手法の使い方に関する良書を使い、地に足の着いた理解を目指す。	西暦偶数年度開講。02FA276と同一。 対面
0BDM224	情報検索特論	1	1.0	1 - 3				インターネットの発達などにより、アクセスできる情報は爆発的に増加している。この莫大な情報の中から、キーワード検索のみで必要な情報を探し出すことは困難になりつつある。このような背景のもと、同義語や類義語、シソーラスなどを用いた概念検索や、個人の検索履歴を用いた意図理解検索、世の中で良く検索されているキーワードを活用した予測検索など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、これらの高度な検索技術について紹介すると共に、その要素技術および適用分野について紹介する。これらの事例を参考にすることで、情報検索のアルゴリズムについて理解する。	7/5(土)4~8限, 7/12(土)4~8限 西暦奇数年度開講。02CF201, 02FA238と同一。 2026年度開講せず。 対面
0BDM225	知的ドキュメント管理論	1	1.0	1 - 3	春C	応談	津田 和彦	氾濫するドキュメント情報を、知識とするには「必要とする情報」を漏れなく高速に閲覧できるように管理する必要がある。ドキュメントの中にはテキスト情報だけでなく、図や表など様々な情報が記載されている。さらにドキュメントには、作成者や作成日、閲覧履歴など多くの属性情報が付与されている場合が多い。本講義では、これらの情報を総合的に捉え、目的に応じたドキュメントを漏れなく高速に検索できるように管理する手法について議論すると共に、その限界や問題点などについても考察する。これにより、ドキュメントを効果的に利用するための管理方法を習得する。	西暦偶数年度開講。02CF202, 02FA239と同一。 対面
0BDM229	複雑システム論	1	1.0	1 - 3				流行現象、流通・取引関係、組織運営、伝染病など、人や組織に起因する社会のさまざまな関係は、複雑システムの視点から捉えることができる。これらを分析する手法として、社会ネットワーク分析や複雑ネットワーク分析がある。また、ネットワークモデルを利用したシミュレーション手法として、社会シミュレーションがある。本講義では、これらの理論的背景とモデリング手法を講義するとともに、実際の現象に対して分析を試みることを通して、複雑システムのモデル化の理論と手法を習得する。	西暦奇数年度開講。02CF205, 02FA246と同一。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBDM230	データマネジメント特論	1	1.0	1 - 3	秋A	土3,4	吉田 光男	データは様々な活動を支えるインフラであり、大きな価値を生み出しますが、効果的な活用のためには適切に管理する必要があります。また、研究プロジェクトにおいて、データマネジメントプランの作成も要求されるようになってきています。本科目では、データをマネジメントする上で必要な事項を俯瞰的に理解し、データマネジメントプランの立案について学びます。また、データがもたらす倫理上の問題についての理解も深めます。解説事項については、受講生の興味に合わせて調整します。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. 02FA287と同一。 対面(オンライン併用型)
OBDM292	計量マーケティングモデル特論	1	1.0	1 - 3	春C	火7,8	伴 正隆	本講義では、マーケティング・サイエンスの分野で登場する、統計学や計量経済学をベースとしたいくつかのモデルについて、Rのbayesmパッケージを利用してモデルの特性とそのモデルを使用する背景について検討する。具体的にはロジットモデルやプロビットモデルを代表とする離散選択モデルの消費者パネルデータへの適用を扱い、分析例を通してモデル構築の素養を高める。	オンラインのみにて実施します。 02FA282と同一。 オンライン(同時双方向型)
OBLC503	リスク・レジリエンス工学博士特別演習	2	2.0	1 - 3	通年	随時	岡島 敬一, 三崎 広海, 加藤 和彦, 高安 亮紀, 面 和成, 鈴木 研悟, 齊藤 裕一, 臼田 裕一郎, 酒井 直樹, 田原 聖隆, 藤原 広行, 岡部 康平, 島岡 政基, 木下 陽平, 倉橋 節也, 津田 和彦, 鈴木 勉, 羽田野 祐子, 古川 宏, イリチュ 美佳, 遠藤 靖典, 谷口 綾子, 伊藤 誠, 梅本 通孝, 西出 隆志, 佐藤 稔久, 安部 原也, 秋元 祐太郎, 吉田 光男, 高橋 大成, 北島 創, 干川 尚人, 崔 子歆	リスク・レジリエンス工学に関する博士レベルの各々の研究についてプレゼンテーションを行い、プレゼンテーション技術の取得と向上を図る。また、他の学生や研究者の発表を聴講し、質疑にかかわるコミュニケーション能力の向上を図る。	対面
OBLC504	リスク・レジリエンス工学博士特別研究	3	6.0	1 - 3	通年	随時	面 和成, 岡島 敬一, 三崎 広海, 加藤 和彦, 高安 亮紀, 鈴木 研悟, 齊藤 裕一, 臼田 裕一郎, 酒井 直樹, 田原 聖隆, 藤原 広行, 岡部 康平, 島岡 政基, 木下 陽平, 倉橋 節也, 津田 和彦, 鈴木 勉, 羽田野 祐子, 古川 宏, イリチュ 美佳, 遠藤 靖典, 谷口 綾子, 伊藤 誠, 梅本 通孝, 西出 隆志, 佐藤 稔久, 安部 原也, 秋元 祐太郎, 吉田 光男, 高橋 大成, 北島 創, 干川 尚人, 崔 子歆	リスク・レジリエンス工学の博士レベルの各研究テーマに関する基礎的なものの見方・知識・スキルを教授するとともに、そのテーマの研究指導を行う。また、専門分野のレビューについて外国語によるプレゼンテーションを行わせ、国際的通用性を向上させる。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBLC506	リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	2	2.0	1 - 3	通年	随時	三崎 広海, 高安 亮紀, 面 和成, 鈴木 研悟, 齊藤 裕一, 木下 陽平, 津田 和彦, 鈴木 勉, 羽田野 祐子, 古川 宏, イリチュ 美佳, 遠藤 靖典, 岡島 敬一, 谷口 綾子, 伊藤 誠, 梅本 通孝, 西出 隆志, 秋元 祐太郎, 吉田 光男, 高橋 大成, 干川 尚人, 崔 子歆	リスク・レジリエンス工学に関するグループPBLにアドバイザーとしてコミットさせることにより、問題の設定、プロジェクトのマネジメント、成果のとりまとめ、発表までのプロセスを指導できる能力を会得させる。	対面
OBLC509	リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	3	2.0	1 - 3	通年	随時	面 和成, 三崎 広海, 高安 亮紀, 鈴木 研悟, 齊藤 裕一, 木下 陽平, 津田 和彦, 鈴木 勉, 羽田野 祐子, 古川 宏, イリチュ 美佳, 遠藤 靖典, 岡島 敬一, 谷口 綾子, 伊藤 誠, 梅本 通孝, 西出 隆志, 秋元 祐太郎, 吉田 光男, 高橋 大成, 干川 尚人, 崔 子歆	リスク・レジリエンス工学に関するプロジェクトを独自に提案し、調査・分析に基づいて問題の構造およびプロセスの解明とメカニズムの分析を行い、問題解決のための方策を提言する。	対面 オンライン(同時双方向型)
OBLC510	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1	1.0	1 - 3	秋A	集中	李 維森, スー ウェンジュイ, 酒井 直樹, 梅本 通孝	Disaster Prevention Research and Efforts in NCDR. The main concepts proposed by NCDR are aimed at how to implement scientific outputs at level of policy formation, emergency operation, information integration and risk communication. With practical case studies, it will offer students a chance to think the way to develop effective and efficiency disaster risk management.	02CF910と同一。この授業は一部を除いて英語で行われます。02CF910と同一。英語で授業。対面